

若い消費者を意識

有松・鳴海絞りの産元業者
新作コンクール96 商品のPR兼ねて

有松・鳴海絞りの産元業者による「有松・鳴海絞りの新作コンクール96」は二十二

一二十四日、名古屋・栄の地下街セントラルパークを会場に実施された。同産地の作品審査会が、一般消費者の目に触れるオープンな場所で行われたのは初め

て。主催は愛知県絞工業組合、有松絞商工協同組合、鳴海絞商工協同組合。最優秀の中部通商産業局長賞は、浴衣の部で近喜、服地の部で久野染工場が受賞した。

このコンクールは昨年まで「有松・鳴海絞競技会」として、有松・鳴海絞りの会館を会場に実施されていた。だが、①地元・名古屋でも有松・鳴海を観光地と思っている人が多い②産地でのもの作りに消費者の意識が反映されないことが多

い③との反省からこれまでの開催方法を見直し、消費者への有松・鳴海絞りのPRを兼ねて実行された。今回から、同地下街デパートのセントラルパークが後援に参加。同地下街内のオープン型展示施設、セントラルギャラリーとセントラルアイを会場に、審査と作品展示を行い、通行の一般消費者による人気作品アンケートも行った。こうした取り組みの結果として、「一般の目に触れることを意識して作品レベルが格段にアップ」（実行委員）する効果が表れ、各賞の審査基準も現代的感性を重視する方向に変化が見



消費者からの人気アンケートを実施し、今後の物作りに反映

られた。アンケート結果は未集計だが、「若い先端的ファッションセンスをもつ人が集まる地下街で、今の時代に求められる絞りがわかるはず」（同と期待。産地全体で今後の物作りに反映させていく方針。